

# 令和4年度 ロジックモデル研修及び ひきこもり支援施策WS活動記録



**経営改革推進課**

## はじめに

昨今の社会課題や区の抱える独自課題が複雑化し、これまで実践してきたPDCAマネジメントや説明責任の重要性が増している。そこで、課題解決のため、政策・事業の必要性、目的、手段を論理的に整理・明確化し、新たな政策立案等を検討するためのツール「ロジックモデル」の研修及びWSを開催することとした。

WSは、近年、社会課題となっている「ひきこもり」への支援方策について、をテーマとし、庁内の複数あるひきこもり支援機関や、ひきこもり関係者などの参加のもと、ひきこもり支援策のロジックモデルを検討した。

---

## 目次

- 1 ロジックモデル研修・ひきこもり支援施策WSの実施
  - (1) ロジックモデル研修 (P1)
  - (2) ひきこもり支援施策WS
    - ①第1回ひきこもり支援施策WS (P2)
    - ②第2回ひきこもり支援施策WS (P3)
- 2 ロジックモデル研修・ひきこもり支援施策WS後の対応 (P4)
  - (1) 研修動画の全庁公開
  - (2) WS参加者へのロジックモデル案のフィードバック

# 1 ロジックモデル研修・ひきこもり支援施策WSの実施

## (1) ロジックモデル研修「ロジックモデルとは ～社会課題解決のツールとしての活用～」

日 時：令和5年1月27日（金）午後2時から午後5時

講 師：源 由理子 氏（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

目 的：ロジックモデルを活用することで、「PDCA マネジメントの質やアカウンタビリティ（説明責任）」の向上を目指す。

参加者：35名 区職員等（ひきこもり支援窓口担当者、評価担当者、政策立案担当者、データ活用研修参加者、絵本のまちWSの参加者）

内 容：ロジックモデルの概要や作り方、事例を交えた説明やグループワークを実施

### ①ロジックモデルはどこから生まれたのか

- ・評価論（プログラム評価）の紹介

### ②ロジックモデルの構成要素

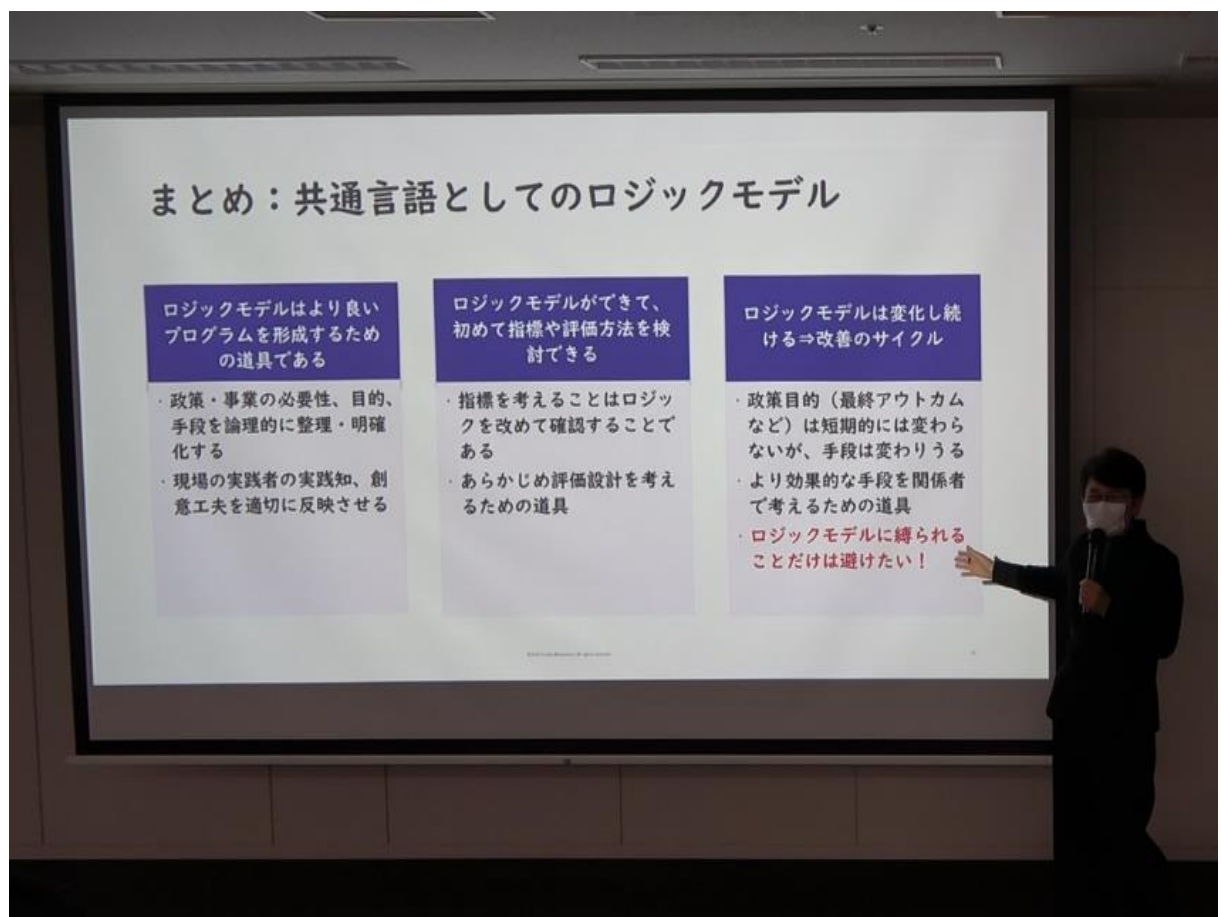
- ・アウトカム、アウトプット、活動

### ③ロジックモデルと指標

- ・指標の検討方法

### ④ロジックモデル演習

- ・「絵本のまち」のロジックモデル（指標の設定含む）を事例に、適宜ディスカッションを実施した。



## (2) ひきこもり支援施策WS

「ひきこもり支援施策」をテーマにロジックモデルを作成し、新規事業立案や既存事業の見直しを検討するプロセスを実践的に学んだ。

### ①第1回ひきこもり支援施策WS

日 時：令和5年2月6日（月）14時から17時

場 所：教育支援センター（板橋区役所南館6階）

講 師：源 由理子 氏（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

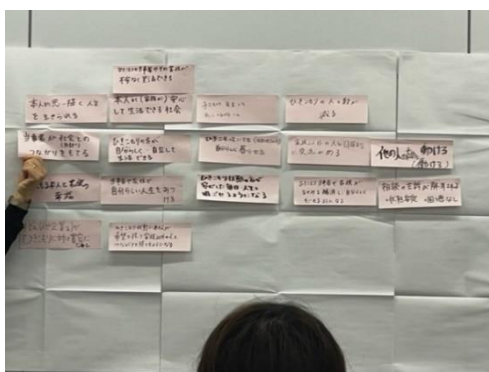
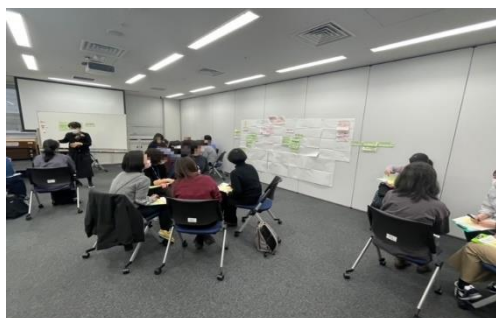
参加者：17名（ひきこもり支援窓口担当者）

### 目的

近年、新規事業立案の際には、これまでの経験や勘に基づくものではなく、合理的根拠に基づく事業立案が求められている。そこで、今回のWSを通じて、根拠となるひきこもり支援施策の“ロジックモデル”を作成し、新たな施策・事業立案に加え、既存事業の改善に活用していく。

### 内容

ひきこもり支援施策における最終アウトカムの確認・共有及び、ひきこもり支援施策のロジックモデルを作成した。



## ②第2回ひきこもり支援施策WS

日 時：令和5年2月16日（木）午前9時から12時

場 所：区役所9階 大会議室B

講 師：源 由理子 氏（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

参加者：17名（ひきこもり支援関連部署）

### 目的

ひきこもり支援施策のロジックモデル（指標の設定含む）を完成させ、今後のひきこもり支援施策の課題について検討する。

### 内容

第1回で作成したロジックモデルを振り返り、各アウトカムに対し、活動及び指標を設定するなど、ロジックモデルを活用した施策立案に向けた検討を関係者間で実施した。

## WSと発表風景等



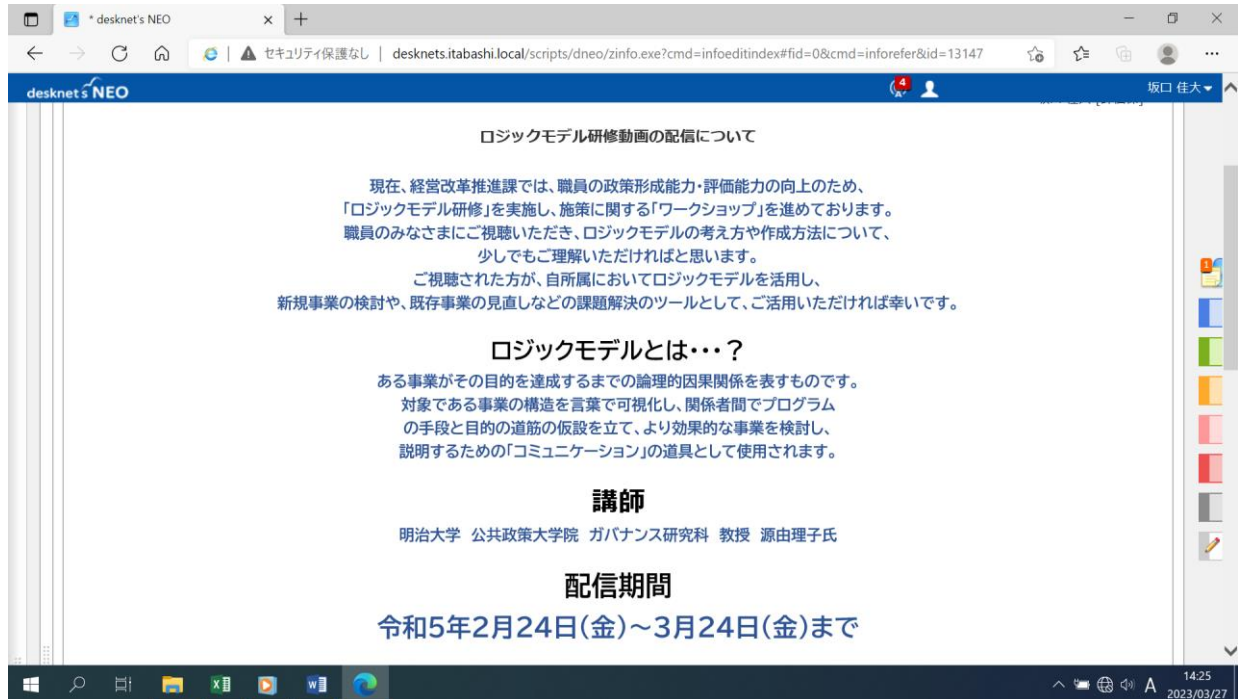


## 2 ロジックモデル研修・ひきこもり支援施策WS後の対応

### (1) 研修動画の庁内公開

新規事業検討や既存事業の見直しなど課題解決ツールとしてロジックモデルを活用していくため、研修動画を庁内公開した。

**期間 2月24日（金）～3月24日（金）**



### (2) WS参加者へのロジックモデル案のフィードバック

#### ①第1回WSのフィードバック【令和5年2月9日（木）】

第1回WSで作成したロジックの指標やアウトカムなどをWS参加者と共有するとともに、第2回WSに向けてロジックモデル内に示す「活動」について、既存事業と未実施事業の仕分けを行った。

#### ②第2回WSのフィードバック【令和5年3月10日（金）～3月16日（木）】

WS内で作成したロジックモデルを参加者へ共有するとともに、生活支援課及び経営改革推進課において、令和4年度版ロジックモデルの完成に向けて既存事業等、未実施事業の仕分けを行い、ロジックモデルを完成させた。

なお、完成したロジックモデルを基に、生活支援課ひきこもり支援担当係長のもと新規事業の検討を進めている。